

発表事項

平成21年 三重県議会10大ニュース

平成21年12月2日
三重県議会

平成21年における三重県議会の10大ニュースについて、議長が以下のとおり選びました。

1 1月・7月 紀伊半島三県交流会議の開催

三重、和歌山、奈良の県議会議員が三県共通の紀伊半島の振興策について意見交換を行う「紀伊半島三県議会交流会議」の第2回目を平成21年1月29日和歌山県において、第3回目を7月24日三重県において開催し、紀伊半島における観光振興、道路整備、地域医療対策等について意見交換を行いました。

2 2月～7月 知事への申し入れ・提言

次のとおり、知事に対して申し入れ・提言を行いました。

2月2日 病院事業見直しに係る県の考え方についての知事への申し入れ

2月27日三重県リサイクル製品についての知事への申し入れ

3月6日 救急医療体制整備に関する知事への提言

4月30日財政健全化に向けた知事への提言

7月31日「2009年版県政報告書」に基づく今後の県政運営等に関する知事への申し入れ

3 3月・6月 議員提出条例の検証

議員提出条例について、社会情勢の変化などを勘案し、検証するため昨年設置した「議員提出条例に係る検証検討会」では、三重県リサイクル製品利用推進条例の検証を重ね、3月23日、同改正条例案を可決しました。

また、三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例の検証を重ね、6月30日には同改正条例案を可決しました。

現在、検討会では、三重県行政に係る基本的な計画について議会が議決すべきことを定める条例について検証を行っています。

- 4 3月・6月 政務調査費の減額、使途の透明性の向上
平成21年4月から平成23年4月までの間、政務調査費の交付額を10%減額する三重県政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例案を3月23日に可決しました。また、政務調査費の使途の透明性を高めるため、平成20年度分の政務調査費について、全ての領収書等の写しを収支報告書に添付して6月30日に議事堂内の議会図書室で公開しました。

- 5 3月・10月 議会改革諮問会議の設置、開催
3月23日、三重県議会基本条例に基づく附属機関として、三重県議会議会改革諮問会議を設置する条例案を可決しました。
諮問会議の委員には、地方議会や地方自治などの専門家5名の方に就任いただき、10月10日に開催した第1回会議では、本県議会の基本方針、その他議会改革に関する事項について意見を求めるため、議長から諮問を行いました。
今後、本県議会が取り組んできた議会改革について、議員自身による評価や、県民の皆さんの意向なども含めた現状把握を十分に行ったうえで、目指すべき県議会の改革方向案について、答申をいただく予定です。次回の諮問会議は、1月25日に開催予定です。

- 6 4月 全国自治体議会との交流連携の推進
全国の自治体議会議員が一同に会し、地方分権時代にふさわしい自治体議会のあり方と議会改革の方向性についての認識を深める「第5回全国自治体議会改革推進シンポジウム」を4月10日、津市で開催しました。全国の72の自治体議会などから、議員をはじめとする議会関係者など467人にご参加をいただき、三重県議会からも45人の議員が参加しました。

- 7 4月 県立病院改革に関する考え方(基本方針)(案)の公聴会の開催
県民の利害に関わる重要な案件である「県立病院改革に関する考え方(基本方針)(案)」の調査にあたり、4月22日、健康福祉病院常任委員会において公聴会を開催し、学識経験者2名、県民3名の計5名の公述人から意見を聴取しました。

- 8 5月 議長の在任期間の改正
議長の在任期間については、昨年の代表者会議での申し合わせに基づき、現議長から議長の在任期間が2年となりました。
なお、副議長については、従来どおり1年です。

9 9月 公共政策大学院等とのインターンシップ制の試行

県議会における政策立案の充実に資するとともに、学生のキャリア形成の支援を行うことを目的に、9月7日から2週間、京都大学公共政策大学院の学生2名をインターンシップ実習生として受け入れました。実習生には、議員提出条例に係る検証検討会における調査や資料案の作成、議員との打ち合わせへの参加、検討会の運営補佐などの議会事務局における実務を経験していただきました。

10 11月・12月 わかりやすい情報発信

県民の皆さまに委員会の審議をよりわかりやすいものとするため、委員会に提出される資料をホームページに掲載し、資料を閲覧しながら、委員会のインターネット中継及び録画配信を視聴できるようにいたします。また、委員会会議録閲覧の際にも、資料を参照できるようにしたいと考えています。

また、県民に県議会の活動をより身近に感じていただくため、外部から議会広報に関するアドバイザーを招聘して勉強会を開催し、専門的立場から意見・提案をいただき、わかりやすい議会広報を実践するため、議会広報の編集アドバイザーの導入を行います。